

No.EA21-08-006-01

2024年7月29日

エコアクション21 環境経営レポート

期間2023年5月～2024年4月



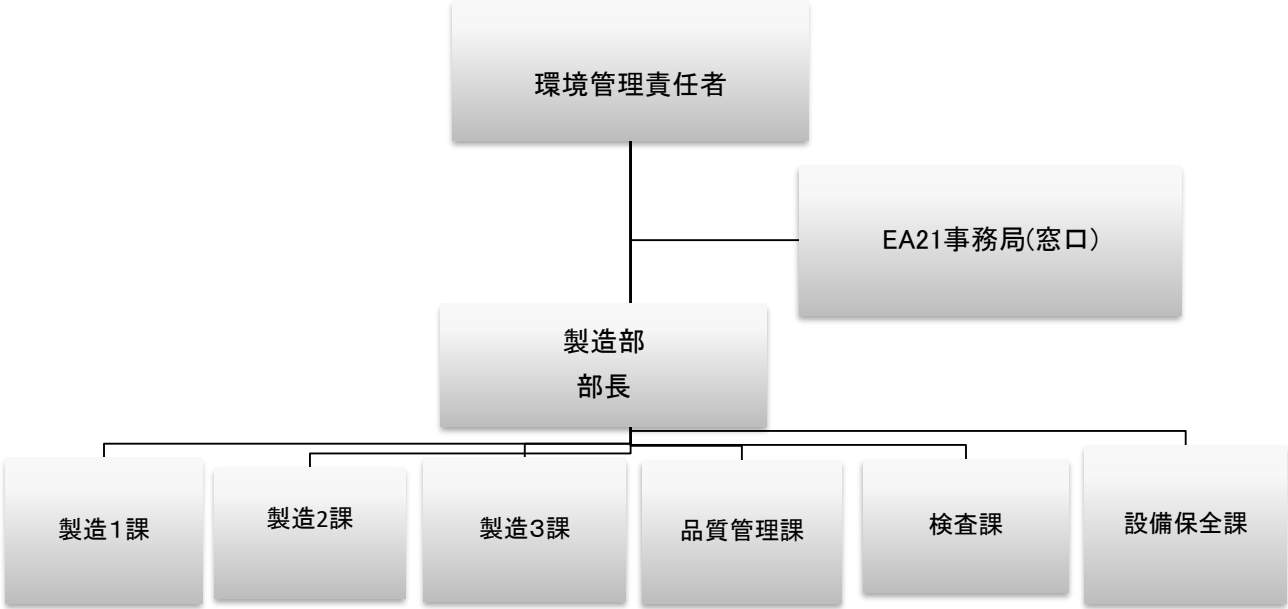
目次

I	事業活動の規模・・・・・・・・・・・・・・・・	P 3
II	E A 2 1 推進体制・・・・・・・・・・・・・・・・	P 4
III	環境経営方針・・・・・・・・・・・・・・・・	P 4
IV	環境経営目標と実績・・・・・・・・・・・・・・・・	P 5
V	環境経営の取り組み計画と評価・・・・・・・・	P 6-7
VI	環境関連法規制の遵守状況・・・・・・・・	P 8
VII	代表者による全体評価と見直しの結果・・・・・・・・	P 8

I 事業活動

- 1) 事業者および代表者
事 業 者 名 株式会社ミナト精機製作所
代 表 者 名 代表取締役 神子島岩男
- 2) 所在地および連絡先
所在地 群馬県高崎市倉渕町三ノ倉町1019 電話 027-378-2097
環境窓口（推進室） 事務 経理課 塚原美嘉 野口奈緒子 FAX 027-378-3303
- 3) 業務内容および業務規模
自動車部品及び、その他の精密機械部品の機械加工
敷地面積 2,740㎡
従業員数 60名(2024年4月現在)
- 4) 対象範囲 本社工場:自動車部品及び、その他の精密機械部品の機械加工

II EA21推進体制



推進業務分掌

業務	分掌(役割、責任者)
環境管理責任者	本部長 ①環境方針を制定する。 ②EMS活動に必要な経営資源を準備する。 ③EMS活動の構築・運用に必要な情報を収集し、環境目標、EMS活動 全体の見直し是正処置を行う。 ④環境管理責任者として、環境委員会を統括する。 ⑤EMS活動の実績把握のための情報を提供する。
事務局（窓口）	事務 ①事務局として、環境管理責任者を補佐しEMS活動に関する窓口、及び実務全般を所管する。
環境委員会	①環境管理責任者は、各課長を7月.翌年1月に招集し環境委員会を開催する。 ②主な協議事項：環境目標の設定、環境活動計画の策定及び進捗管理。

株式会社ミナト精機製作所 環境経営方針

<基本理念>

株式会社ミナト精機製作所は、自動車部品及びその他の精密機械部品の生産活動において、「地域社会との共存共栄」を図るため、環境にやさしい企業をめざし、全従業員で活動を促進いたします。

<活動指針>

- 1 法令遵守により「環境汚染の予防と改善活動」を実行し、地域環境保全に努めます。
- 2 CO2排出の削減をめざし、省エネ・省資源活動を行うと共に水等の資源を大切に使用します。
- 3 工程不良品の削減、産業廃棄物削減を図ると共に、リサイクル化の推進を行います。
- 4 環境教育を実施し、従業員の環境意識高揚に努めます。
- 5 活動内容と結果を「環境経営レポート」として社外に公表します。

制定日：2008年7月1日
改定日：2024年4月3日
代表取締役 神子島岩男



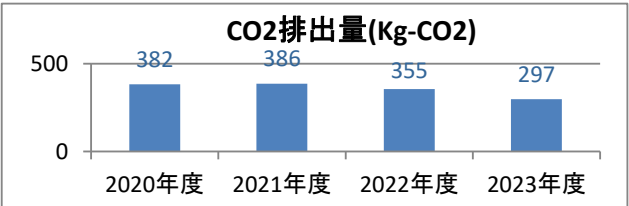
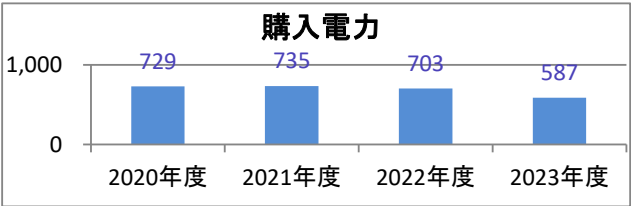
Ⅳ 環境経営目標とその実績&次年度の目標

2023年度（年間）の活動実績を下記の通り報告いたします。

<1>基準年度と目標計画に対する実績比較

実績評価：○目標達成、×目標未達成

項目		単位	過去3年間の年間実績 (売上百万円あたり)			基準値	2023年度 実績	基準値 増減 (%)	実績 評価	2024年目標
			2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績	過去2年間 平均値	目標 基準値 2%減			
エネルギー・資源	購入電力	kwh	729	735	703	719	587	-18.4	○	基準値比3%減
	軽油	ℓ	9.1	9.1	8.4	8.7	6.9	-20.4	○	基準値比3%減
	灯油	ℓ	8.5	8.8	6.3	7.6	5.6	-26.2	○	基準値比3%減
CO2排出量		Kg-CO ₂	382 (445,117)	386 (493,614)	355 (544,709)	370 (519,161)	297 (505,062)	-19.8 ()内は総量	○	基準値比3%減
産業廃棄物	一般廃棄物 (売上百万円あたり)	kg	2.8 (3,258)	2.9 (3,708)	2.4 (3,744)	2.7 (3,726)	2.2 (3,708)	-18.3 ()内は総量	○	過去2年間平均維持
	金属類くず (売上百万円あたり)	kg	657.0 (765,390)	602.0 (770,618)	603.6 (925,961)	602.8 (848,289)	530.3 (901,480)	-12.0 ()内は総量	○	過去2年間平均維持
	廃油 (売上百万円あたり)	ℓ	22.1 (25,800)	20.3 (26,000)	19.6 (30,000)	19.9 (28,000)	14.4 (24,500)	-27.7 ()内は総量	○	過去2年間平均維持
水資源	水(売上百万円あたり)	m ³	0.5 (579)	0.5 (701)	0.7 (1,018)	0.6 (859)	0.6 (1,076)	4.5 ()内は総量	×	過去2年間平均維持
項目		2022年度経営活動計画		2023年度経営活動計画		2023年度経営活動実績		評価		2024年目標
製品及びサービス		1)工具寿命を延ばすためのトライアルを実施する。		チップの見直しは常時トライ。		チップの見直しを積極的に実行し、目標達成。		○		2023年度実績継続
		2)改善推進会では切削加工の角度や速度、材質についても話し合い、意見を出し合い改善していく。		不具合品発生理由を熟考し、工程不良の削減に努める。		日々不具合品内容確認の巡回を実施。また改善推進会での不具合内容の水平展開により、日々改善し、削減傾向。				2023年度実績継続
化学物質使用量の抑制管理		1)SDS管理、法規制内容を確認し使用。		←2022年度実績維持		SDS管理継続中		○		2023年度実績継続
		2)油脂類廃油処理記録の管理				マニフェスト管理の実施				



<2>2023年度評価

2022年度～2024年度(中期計画)の購入電力（1円）CO2排出係数は0.452kg-CO2(1円4年度排出量算定用)で固定

1.二酸化炭素排出量の削減

電力使用量は基準値より18.4%減少し、目標を大きく達成しました。

軽油は減少、灯油使用量は暖冬の影響か使用量が減少しました。

CO2排出総量も売上が増加したにもかかわらず大幅な減少結果となった。

2.産業廃棄物排出量の削減

一般廃棄物は総量は大幅に減少したわけではないが、売上あたりの比較により大幅に減少。

金属くずは売り上げが増加しにもかかわらず減少。不具合品削減対策の効果か。

廃油は前年度比では生産数量が減少したため廃油量も減少したのではないか。

3.水資源投入量の削減

日頃からの節水は継続しているが、使用量が増加してしまった。

4.製品及びサービス

生産数量は回復傾向。

5.化学物質使用料の抑制管理

当社は化学物質は使用していませんが、新規に油脂類を購入する場合は、今後もSDSを入手し従業員の安全と排油処理管理を継続致します。

V 環境経営の取組み計画とその評価及び次年度の取組

1. 環境経営の取組み計画と活動の評価は下記の通りです。

評価基準=○:取組効果あり△:取組効果少×:取組未達成

No.	取組項目	実績評価	評価	次年度の取組
二酸化炭素排出量の削減	1. 使用電力の削減			
	①不在時、休憩時の消灯	不在時、休憩時の消灯は習慣化し、維持継続できました。	○	現状維持継続
	②手元スイッチ化推進	手元スイッチ化の推進により、必要な場所のみの電力使用で電力を削減できた。	○	随時実施
	③ポンプ・レシーの効率化、エアー漏れ箇所の改善と効率化	IP-配管前年度に引き続き実施中。 IP-漏れチェックを実施	△	随時実施
	④照明器具LEDへの切替	工場内照明器具のLED工事は完了。 電力使用量の目標達成しているので節電効果を実感している。	○	現状維持継続
	2. 灯油、軽油使用量削減	法規則通りの定期点検、使用前点検の推奨		
	①冬場の暖房効率化を試みる	寒い風が入らないようにドアや窓の開け閉めはこまめに行い、暖房の効率化を図った。	○	現状維持継続
	②運送トラック、フォークリフトの定期点検、整備	法規則通りの定期点検、使用前点検の推奨	○	現状維持継続
廃棄物排出量の削減	1. 一般廃棄物(可燃ゴミ)廃棄量削減			
	①備品の徹底使用	継続して軍手や備品の徹底使用、一般廃棄物の削減に努めるよう朝礼にて呼びかけ実施。	○	継続して呼びかけ実施
	②コピー紙の裏紙使用	裏紙使用の呼びかけ実施や、資料をデータベース保存しペーパーレス化を推進中。	○	現状維持継続
	2. 産業廃棄物の削減			
	①金属くず(不良部品)の削減	工程間不良は減少傾向。 改善推進会で引き続き削減に取り組んでゆく。	○	不良削減活動継続
	②廃油の削減	廃油は減少傾向。濃度計を使用し無駄なく使用中。	○	現状活動継続
水資源投入量削減	1. 生活用水の節水			
	①節水を呼びかける看板の設置	節水意識は定着してきているが、受注回復により切削油の増加などもあり、使用量は増加してしまった。	△	現状活動継続
	②節水関連グッズの検討	実施までには至らなかった。	×	継続して節水方法を検討する
	2. 水溶性切削液の効率			
	①水溶性切削液の濃度管理	切削油の濃度を可能なものは10%から7%にする。	○	現状活動継続
	④廃液の濾過リサイクル	工程内ブロー加工後の切削液はすべての設備に切削液除去装置(遠心分離装置)を設置し切削液使用量削減を図っている。	○	現状活動継続
製品及びサービス活動		コロナ禍からの受注減少も緩やかに回復。 引き続き工程内不良の削減に努める。 改善活動を継続して実施する。	○	現状活動継続
化学物質使用料の抑制管理		特定化学物質は使用していないが、今後も油脂類購入時はSDS入手し・人体への安全性・廃棄時の処理方法等確認し対応をする。	○	現状活動継続、既存SDSファイルの整理。

2. 2023年度の取組み評価

1) CO2排出量の削減活動。

電気使用量は減少し、CO2排出量は大きく減少した。

軽油使用量は減少。売上も回復したため大幅に減少となった。

灯油の使用量は気温の影響が大きいのか減少。売上の影響もあり大幅な減少結果となった。

2) 産廃物排出量の削減活動。

一般廃棄物は緩やかに減少。引き続き備品の徹底使用を呼びかけ削減活動に努める。

金属くずは売上により大幅な減少結果にはなったが、今後とも工程不良削減活動を継続していく。

廃油量も減少。今後とも濃度管理を継続。

3) 水資源は大きな削減対策が実行できず、増加してしまった。

今後も節水を呼びかけ継続して活動する。

4) 活動開始時にファイル化したSDSを現状に合わせ整理している。

Ⅵ 環境関連法規制の遵守状況（まとめ）

1 当社に関連する環境関連法規等

＜2024年4月末現在＞

No.	法規制等の名称	管理内容	記録名：報告書	遵守状況
1	浄化槽法	- 定期点検 - 保守点検を実施	- 定期点検記録 11条検査記録	遵法
2	騒音規制法	- 特定施設(空気圧縮機)の届出 - 届出内容の変更、追加の管理	特定施設届出書	遵法
3	振動規制法	環境省指定の低振動圧縮機に該当していたため、廃止届を提出(12月)	特定施設届出書廃止届	遵法
4	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	- 契約業者の違法行為の有無管理 - マニフェスト伝票の保管、報告書の提出	- 処理業者との契約書 - マニフェスト報告書	遵法
5	消防法	- 消防設備の点検 - 取扱い危険物の品目及び数量の管理	- 緊急事態訓練記録 - 緊急連絡網 - 消防書査察記録	遵法
6	70%排出抑制法	適切な機器の管理	定期点検及び記録の保管	遵法

2 違反・訴訟等の報告

- 環境関連法規制の違反はありません。
- 過去3年間、関係当局からの違反、訴訟等もありません。また、近隣地域等の方からの苦情・指摘及び訴訟はありません。引き続き、環境関連法規制を順守し、地域環境保全活動に努めます。

Ⅶ 代表者による全体の評価と見直し

- CO2排出量は減少となり、全体的にマイナス傾向となり、良い結果となった。
今後も環境問題も意識して削減活動に取り組んでいきたい。
- 廃油も大幅に削減。
適正な量を使用するために濃度管理も引き続き継続してほしい。
- 製品及びサービス、化学物質使用料の抑制管理では特に問題なしと判断する。
- 軽油目標達成。納品数量の影響を受けてしまう為、
引き続き配送ルートを把握し、効率よく配送できるよう努め、エコドライブを心がけてほしい。
- 廃棄物置場の設置・管理と、産廃処理関連書類の管理を継続。

次年度(2024年度)の取り組みに向けて

①CO2削減、産業廃棄物削減

- 次年度の中長期目標は基準値の3%減なので、CO2削減等を含めた具体的実施項目を検討し作成。

②製品及びサービス、化学物質使用料の抑制管理

- 工程不良、顧客クレーム改善は継続的に改善する。品質改善の取り組みは引き続き継続してほしい。
- SDS管理ファイルの整理

③環境上の非常事態への想定訓練の実施。

- 活動計画書に基づいて推進していくこと。